

課外講習 第2期のお知らせ(高Ⅱ)

鷗友教育研究所 担当：中村達幸

第2期課外講習は、以下の要領で行われます。内容・日程を読んで希望する人は申し込んで下さい。

【開設講座】

曜日・時間	講座名
火曜日 7・8時間目	1. Ⅱ・数学ハイレベル
木曜日 7・8時間目	2. Ⅱ・数学スタンダード
水曜日 7・8時間目	3. Ⅱ・英語スタンダード
金曜日 7・8時間目	4. Ⅱ・英語ハイレベル

※ 現在、予備校等で授業をしている先生が担当します。

【授業内容】主に大学入試問題等を使用した演習。1クール 100分授業×8回（第3クールは全6回）

【日 程】第2クール：9月～12月（全8回） 第3クール：1月～3月（全6回）

高2第2期	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
火曜日	9月8日	9月15日	9月29日	10月20日	10月27日	11月10日	11月17日	家庭実習
水曜日	9月2日	9月9日	9月16日	9月23日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日
木曜日	9月10日	9月24日	10月1日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日
金曜日	9月4日	9月11日	9月25日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日

※ 場合によっては遠隔授業になることがあります。

【講座内容と講師】

1. Ⅱ・数学ハイレベル 火曜 [講師] 近谷邦彦

【講座内容】単なる公式の暗記によるルーチンワーク的な作業に専心し、どのようにして解くか(How)ではなく、何故(Why)、そのように解くかに重点をおいて解説していきます。教科書の例題を礎に、実際の入試問題から精選し演習していきます。

この演習を通して、数学的な考え方(論理の進め方)の習得を目標とします。

第1～3回 場合の数・確率 第4～6回 整数 第7・8回 数列

2. Ⅱ・数学スタンダード 木曜 [講師] 宮内 正

【講座内容】数学の入試問題で最頻出の分野の演習と復習を行っていきます。扱う単元は、場合の数、確率、整数問題、数列などを考えていますが、受講生の様子を見ながら調整をすることもありません。3年生になる前におさえておきたい標準的な入試問題を中心に扱っていく予定です。

また共通テストの対策問題も数題程度扱っていく予定です。

第1～3回 場合の数・確率 第4～6回 整数 第7・8回 数列

3. II・英語スタンダード 水曜 [講師] 城戸雅典

[講座内容] 2学期の講習では、1学期に学んだ準動詞（不定詞・分詞・動名詞）に次ぐ重要項目となる「関係詞・比較」を扱います。

[関係詞]

単なる暗記ではなく「構造（＝理屈）」の観点で学ぶ部分が多いことから、文法はもちろんのこと、長文読解の設問としても頻繁に出題される分野です。

第1回：関係代名詞の基本、that の注意点、

第2回：連鎖関係代名詞、前置詞＋関係代名詞、関係代名詞 what とその慣用表現

第3回：関係副詞の基本と応用 第4回：関係詞の非制限用法、複合関係詞他

[比較]

こちらは逆に「定型表現（＝暗記）」が非常に多い分野ですが、体系立てて学ぶことでかなり効率よくマスターすることができます。理屈の部分については数こそ少ないものの、英文解釈・英作等で狙われやすい箇所だけに、100%の理解が要求されます。

第5回：原級の構造理解、原級を用いた構文[1]

第6回：原級を用いた構文[2]、比較級の構造理解、no＋比較級＋than[1]

第7回：no＋比較級＋than[2]、the＋比較級、ラテン語比較級他

第8回：最上級の構造理解、最上級を用いた構文他

※各回の進度はあくまでも目安であり、前後する場合がありますので注意してください。

どちらも大きな得点源になる分野ですので、ぜひ参加してくださいね！

4. II・英語ハイクラス 金曜 [講師] 中村真一朗

[講座内容] 1学期に引き続き重要文法事項を扱います。関係詞と比較の登場です。

関係詞は理屈をおさえながら学習していけば特に難しいことはありません。雰囲気や感覚ではなく、しっかりと理解しながら進めていきましょう。

比較に関しては苦手とする人が多いようです。攻略ポイントは、分かりやすい有益な理屈が通るところはまず理屈をおさえること。理詰めの説明がすこし多くなりますが、避けては通れないのでしっかりと取り組みたいところです。

両者とも内容の濃い分野です。よって差がつく分野でもあります。しっかり習得し他の人たちと差をつけましょう。

第1回 関係詞の種類と用法

第2回 関係代名詞の省略、what の用法、慣用表現、連鎖関係代名詞

第3回 関係副詞

第4回 関係詞の非制限用法、複合関係詞

第5回 比較級・最上級の作り方、比較の基本形式

第6回 最上級相当表現、注意すべき比較構文

第7回 all the 比較級、no more than、no less than など

第8回 比較を含む慣用表現

※ 秋以降に、古文の講座を開設する予定です。後日、案内プリントを配付して募集します。

【申し込み方法】

1. 受講料を振り込む

1 講座 第2クール 9,600円（第3クールは7,200円。第2+第3クールで、16,800円）

振り込みには2つの方法がありますが、Aのネットでの振り込みをお勧めします。どちらの方法でも振り込み時に手数料がかかります。

A 銀行などの金融機関からネットバンキングで振り込む

〈参照〉https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj_sk_fm_kz_1.html

銀行名：ゆうちょ銀行

（金融機関コード：9900 店番：019）

店名（支店名）：0一九店（ゼロイチキュー店）

預金種目：当座

口座番号：0615705

お振込先へのメール送信あるいはメッセージ欄がある場合は

「受講している講座名」（略称でよい）、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」をお書き下さい。

※ メールアドレスは下記参照

（次ページへ続く）

B お近くの郵便局で、郵便振替で払い込む

郵便振替用紙(郵便局にあります)に必要な事項を記入して、窓口で払い込む。

口座番号 00130-7-
↳ 1マス分空白

加入者名 鷗友教育研究所

金額 (講習料)円

通信欄 「受講している講座名」(略称でよい)、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」を記入

ご依頼人 依頼人の住所・氏名(保護者名でも生徒名でも可)を記入

※ 振り込みの半券は領収書としてご自身で保存しておいてください。

2. 下の申込書に必要な事項を記入して担任の先生に提出する。

下の申込書の提出締め切りは7月22日(水)

【備考】

- ・第2・第3クールをまとめて申し込むことができます(両方で16,800円)。
- ・1回の振り込みあるいは1枚の振替用紙で複数講座の入金をして結構です。内訳を明記するか、メールでお知らせください。
- ・既に申し込んである人は今回申し込む必要はありません。(別紙のリスト参照)
- ・このお知らせプリントは、「<http://ohyu-11c.com/>」からダウンロードできます。エールエールシー
- ・質問あるいは締め切りに間に合わなかった場合はメールで問い合わせをしてください
→kyoikuken@ohyu.ed.jp

2020年__月__日

講習申込書

鷗友教育研究所 殿

2年__組__番

生徒氏名_____

保護者氏名_____

受講する講座名を ○印で囲んで下さい。

____月__日に振り込みました

- | | |
|----------------|----|
| 1. II・数学ハイレベル | 火曜 |
| 2. II・数学スタンダード | 木曜 |
| 3. II・英語スタンダード | 水曜 |
| 4. II・英語ハイレベル | 金曜 |